



令和 6年 5月 22日



ほくほく線「芸術祭列車」の運行について

北越急行株式会社では、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」（令和 6年 7月13日～11月10日）において、芸術祭列車を運行し、ほくほく線美佐島駅を舞台とした芸術作品「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」を展開します。

■運行日：令和 6年 7月～11月の18日間

月	日	予約開始
7	13、14、20、21	6/1 10時～
8	3、4、17、18	
9	14、15、21、22	8/1 10時～
10	19、20、26、27	
11	9、10	

■運行時刻：

	まつだい発	十日町発	美佐島	十日町着	まつだい着
1便	11:08	11:19	《作品鑑賞約5分》	11:49	11:59
2便	12:38	12:49	《作品鑑賞約5分》	13:19	13:29
3便	14:13	14:24	《作品鑑賞約5分》	14:54	15:04

※1便あたり35名定員となります。

※赤倉信号場で折返し運転となります。

■作品名：JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

■作家：パノラマティクス／齋藤精一

■鑑賞料金： 大人 700円(作品鑑賞パスポート提示で500円)
小中学生 500円(作品鑑賞パスポート提示で300円)
※別途、往復分の乗車券が必要です。

■プレス向け公開：令和 6年 6月 3日(月)にプレス向けの列車を運行いたします。

まつだい(12:38発)→十日町(12:49発)→美佐島/作品鑑賞
→十日町(13:19着)→まつだい(13:29着)

※取材をご希望される場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

<p>お問い合わせ先 北越急行株式会社 営業企画課 担当：水澤・青木 025-750-1251 (平日 9:30～17:30)</p>

作品イメージ



パノラマティクス/齋藤精一「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」 photo Nakamura Osamu

作品名: JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現するプロジェクトシリーズです。今回は、北越急行ほくほく線の美佐島駅が舞台。1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線。その軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされます。特別列車に乗車して訪れた人だけが鑑賞できる体験型作品となります。

作家: パノラマティクス/齋藤精一

パノラマティクス主宰。建築デザインをコロンビア大学建築学科で学び、2006年、株式会社ライゾマティクス(現:株式会社アブストラクトエンジン)を設立。2020年に地域デザイン、観光、DX等を手がけるデザインコレクティブ「パノラマティクス」を結成。2023年グッドデザイン賞審査委員長。2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター。